

世界の国から
FROM THE WORLD
モーリシャス

アフリカ全土と結ぶ
オフショア金融拠点

モーリシャスは、かつてはサトウキビを中心とした農業や繊維産業の国でした。今では産業の多様化に成功し、アフリカ各国との貿易関係を活用した製造業の拠点になっており、金融やIT産業も盛んです。特にインドとの関係が深く、欧米からのインド向け投資の多くがこの国を経由しています。英語とフランス語を両方話す人材が多いのでアフリカ全土をカバーでき、世界銀行によるビジネスのしやすさでもアフリカ

モーリシャスは、かつてはサトウキビを中心とした農業や繊維産業の国でした。今では産業の多様化に成功し、アフリカ各国との貿易関係を活用した製造業の拠点になっており、金融やIT産業も盛んです。特にインドとの関係が深く、欧米からのインド向け投資の多くがこの国を経由しています。英語とフランス語を両方話す人材が多いのでアフリカ全土をカバーでき、世界銀行によるビジネスのしやすさでもアフリカ

モーリシャスはヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教、中国系などさまざまな宗教・文化の人々が一緒に暮らしていて、お互いにリスペクトし合っています。私の友人も様々で、キリスト教やイスラム教の祭りにお菓子をもらったり、ヒンドゥー教の祭りにはお返しに上げたり。「マルチカルチャー」がモーリシャス文化の特徴なんです。

でNo.1。何より平和で教育水準が高いので、駐在員も安心して家族を帯同できます。例えば高校では英国ケンブリッジのカリキュラムが受けられますので、欧米の一流校にも進学できるんです。アフリカ全体をカバーするビジネス拠点をモーリシャスに置いている企業も少なくありません。

ラダクリシュナ・ニーライヤさん
モーリシャス経済開発庁 (EDB)
海外戦略事業部 マネージャー



東京オフィス
開設します!

モーリシャスのデータ

国土面積：2,045 平方キロメートル (東京都と同程度)
人口：126 万人、インド系 68%、クレオール 28%
言語：英語 (公用語)、仏語、クレオール語
所得：10,130 米ドル/人 (2017 年)

オランダ、フランス、英国の支配を経て 1968 年独立。世界銀行のビジネス環境ランキング 2019 では 20 位でアフリカでは 1 位 (日本は 39 位)。インド洋の島々からなり、かつては砂糖の産地だったが、現在はオフショア金融センターとして、インド、アジア、アフリカへの投資拠点となっている。



UNI-WORLD

ゆにわーど



TICAD7がやってくる



国連工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目 53-70 国連大学本部ビル 8 階
Tel: 03-6433-5520 Fax: 03-6433-5530
URL: www.unido.or.jp E-mail: itpo.tokyo@unido.org

UNIDO × TICAD7



写真は前回のTICAD6



写真は前回のTICAD6

01 アフリカ産業化の未来： アフリカ大陸自由貿易圏 構想（AfCFTA）で変わる アフリカ経済とビジネス

<ハイレベルシンポジウム>

8月27日（火）午後（予定）
パシフィコ横浜アネックスホール

世界最大となるアフリカ大陸自由貿易圏構想（AfCFTA）が如何にビジネスを活性化し、アフリカの構造変革と経済の多様化を促進し、今後10年でアフリカの産業化（IDDA III）にどう貢献するのかを討論

主催：国連工業開発機関
共催：アフリカ連合委員会、（以下調整中）開発金融機関、アフリカ経済団体他
登壇予定：国連工業開発機関 事務局長、アフリカ連合 貿易投資委員長、アフリカ諸国首脳級及び産業大臣（予定）、日本政府、開発金融機関、民間企業のハイレベル代表によるパネルディスカッション

02 パワーリング・アフリカン・ イノベーション Powering African Innovation

8月29日（木）時間未定
横浜ベイシェラトンホテル（5階日輪III、IV）

“Powering African Innovations” をテーマに 1) Mini-grid System 2) Hydrogen and Geothermal Energy 3) Geothermal Energy Development and Japan's Contribution の3つのセッションで議論

主催：国連工業開発機関 エネルギー部
登壇予定：ケニア発電事業公社、ルワンダ開発庁、モロッコ再生エネルギー庁、国内民間企業など（予定）

03 アフリカ農業・アグリビジネス振興に よる若年層雇用加速化に向けた旗艦イ ニシアティブ発足 <ハイレベルシンポジウム>

8月29日（木）または28日（水）
パシフィコ横浜展示ホール（アネックスホール 又は 展示ホール）

責任ある農業投資を促進するための政策・戦略の立案、若年層及び関係者の能力強化並びにバリューチェーン開発などを通じて、アフリカ農業・アグリビジネス振興による若年層の雇用を拡大（予定）

登壇者：FAO、UNIDO、アフリカ連合委員会高官、アフリカ各国農業大臣（予定）、アフリカ若年層組織などによるパネルディスカッション



写真は前回のTICAD6時

04 STePP 登録日本企業による ブース展示 (UNIDO サステナブル技術普及 プラットフォーム)

8月28日から30日（3日間）10:00-18:00
（初日は11時から／最終日は17時まで）
パシフィコ横浜展示ホールD、日本貿易振興
機構主催ジャパン・フェア内、A07ブース

STePP（UNIDO サステナブル技術普及プラットフォーム）に登録されている日本企業12社が独自の環境エネルギー技術やアグリビジネス・保健衛生技術を展示。来場するアフリカ企業に提案する。



ブースイメージ

06 UNIDO ブース 出展

8月27日（火）～30日（金）（予定）
パシフィコ横浜（会議センターフォワイエ内 予定）

UNIDOの持続可能な産業開発に向けたアフリカプログラムを紹介

05 B2B ビジネスマッチング UNIDO アフリカアドバイザー 及びアフリカ企業の来日

8月28日（水）、29日（木）
パシフィコ横浜展示ホール
JETRO アフリカ・ラウンジ内ビジネスマッチングコーナー
8月30日（金）ナビオス横浜「カナルの間」

UNIDO アフリカアドバイザー及びアフリカ企業と日本企業のビジネスマッチングイベント。
対象国（予定）：エチオピア、ウガンダ、ルワンダ、アルジェリア、モザンビーク、セネガル、ブルンジ他



アルジェリア

エチオピア及び近隣国

モザンビーク

セネガル

初来日

UNIDO 東京事務所のアフリカアドバイザーはご好評につき新たに西アフリカのセネガルを加え、今回4人が揃って現地企業と共に来日します。アフリカ企業とのビジネス拡大にこの機会を是非ご活用ください。（安永所長）



第7回アフリカ開発会議 TICAD7 2019年8月27日～30日

会場

パシフィコ横浜
横浜市西区みなとみらい1丁目1-1
横浜ベイシェラトンホテル
横浜市西区北幸1丁目3-23
ナビオス横浜（ホテル）
横浜市中区1 横浜市中区新港2丁目1-1

TICADとは、Tokyo International Conference on African Developmentの略で、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本が主導し、国連や国連開発計画（UNDP）、世界銀行、アフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催しています。2013年のTICAD Vまでは、5年に1度、日本で首脳会合を開催していましたが、アフリカのオーナーシップの高まりを受け、2016年のTICAD VIから、3年に1度、日本とアフリカで交互に開催することとなりました。これに加え、閣僚級のフォローアップ会合を開催しています。2019年8月にはTICAD7が横浜で開催される予定です。国際社会がアフリカ諸国とともに、アフリカの開発について幅広い議論を行っています。